

■■■ あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。 ■■■

◆理事からの新年のご挨拶

セヘ ポンマニ パドゥブシヨ（新年たくさん福をうけとってください）。

昨年も多くの人に支えられ、「KFCみんなのダイニング」という子ども食堂の開設や外国人（移民）の若者のエンパワーメントプロジェクトを開始するなど未来につながる新しい事業をはじめることができました。個人的にも自治体国際化協会のアドバイザーとして、全国各地の国際交流協会などへ出講する機会も増え、新しい出会いの多い年でした。

今年が、KFCにとって自分にとってどのような年になるか楽しみです。大きな節目としては、2017年2月11日、KFCは設立20年を迎えます。人であれば成人、前身団体から数えれば22年、大学を卒業する人も出る年齢です。

どれだけ成長できたかは、自分たちで決められるものでもないですが、前をむいて胸を張って、時には弱っている人を背負っても歩めるKFCであるよう成長できればと思っています。今年もよろしくお願いたします。（理事長 金 宣 吉）

セヘ ポンマニ パドウセヨ。皆様、新年明けましておめでとうございます。去年、KFCはいつも以上に忙しい年だったと思います。外国にルーツを持って生活するマイノリティの生のニーズをくみ上げて、多種多様な事業を実施し、地道に確実に成果を積み上げて来られたのではないのでしょうか。時には現場で火花を散らせながら頑張ってきたスタッフの皆さんに感謝また感謝です。今年も元気に共に歩みましょう。（副理事長 李 圭 燮）

明けましておめでとうございます。市場原理の荒波の中、目の前の期待や「空気」をつい読んでしまえば最後、気づくとクタクタに。一番大事なのは、命と健康！今年こそは「空気をあえて読まないこと」を目標にします。これは、なかなか高度な技術と「しょうもない自尊心」を捨てる鋼の心が必要そうです。今年もよろしくお願いたします。（理事 野崎 志帆）

2016年は、多くの資本主義先進国において、ナショナリズムの伸長が顕在化した一年でした。「PC（ポリティカル・コレクティブネス）疲れ」という言葉があるように、人々が人権に関わる理念への関心を失い、生活実感に基づく共同感情を通じて政治に動員される傾向が強まっています。人類が第一次大戦や第二次大戦の前夜と比べて賢くなっているかどうか試される時代、そのような時代を、KFCとともに神戸で生きていきたいと思えます。今年もよろしくお願申し上げます。（理事 樋口 大祐）

新年あけましておめでとうございます。

定年後、今年は第二のステージに立ちます。

[若い]を横に置き、挑戦の日々に （理事 山根 香代子）

KFCは今年20周年を迎えました。この間、外国人の定住のため様々な事業を展開し、多大な成果を上げてきました。一方でヘイトスピーチによる外国人排除の動きもあり、昨年6月3日にヘイトスピーチ解消法ができ、差別的言動を許さないための施策を国、行政が積極的に取り組むことが求められています。さらに、あらゆる差別を許さない差別基本法の制定が必要です。定住外国人の権利擁護のために、KFCの活動に貢献できるようがんばります。今年もよろしくお願いたします。（理事 吉井 正明）

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆「日本語ボランティア基礎講座(9月25日～10月23日)」を受講して

私は現在、神戸市のしあわせの村にあるシルバーカレッジに通っています。KFCを知ったのもカレッジの国際友の会というボランティアクラブの活動がきっかけでした。

KFCに来て知ったのは、いろいろな国の人が出て、それぞれのいろいろな事情で日本語習得を目標しているということです。私は資格もなく基礎も十分でない為、学習者の方に迷惑をかけているかなあと感じていました。

そんな時に「日本語ボランティア基礎講座」があると知り受講しました。

受講者にはこれからボランティアを始めようとする人、すでにやっている人、そして私のように悩んだり迷ったりしている人などさまざまでしたが、皆さん真剣に人の役に立ちたいと思っている方ばかりでした。

講座では相手が話しやすいように聞き役になる事、難しい言葉はわかりやすく説明する、本だけでなく会話で相手とうちとけたりと多くの事を学びました。

まだまだ未熟な私ですが、これからも少しずつお手伝いが出来ればと思っています。先生と学習者という関係ではなく友人としてこれからも未長く続けられるように頑張っていこうと思っています。（田辺 伊津子）

◆11月29日研修会

「日本語能力試験について」を受講して

日本語支援活動を始めて約6か月、定住外国人の方々の方々の日本での生活に関心があり少しは話し相手になれないかしら…との軽い気持ちからKFCに参加させていただきました。回を重ねるごとに自分の日本語に対する知識のなさや不勉強さに気づき特に日本語を母語とし

ない外国人の方々に分かりやすく理解してもらおうことの難しさを痛切に感じるようになりました。そのような時にKFCで研修の場を設けてくださりとても勉強になりました。

学習者がJLPT受験を希望した場合、支援者はどう対応すべきか？希望する背景をよく理解すること。学習者のモチベーションを上げるのには役立つが日常会話の勉強法ではない。学習者が必要としている方法を見出すべきである。ボランティアとしてのできる範囲を明確にして学習者と話し合いながら進めていくこと、支援方法に迷ったら仲間と問題を共有することも大切であること、そして受験の場合のテクニック等を先生の豊富な経験を交え丁寧に教えて頂きました。受講者の意見交換の場もあり親交を深めることができました。言葉は相手に分かってもらえるように努力して表現し、相手をよく理解できるようにと努力して聞くこと。まずは私自身JLPTにチャレンジしてみようと思っています。研修の機会をくださりありがとうございました。（土肥 富子）

◆11月30日研修会「①活動を共有しよう」「②初級の日本語文法」を受講して

11月30日に行われた日本語支援者向けステップアップ研修会に参加しました。私はボランティアを始めて2年半が経ちました。毎週「生活日本語クラス」が終わる度に楽しかったと思うと同時に学習者への支援方法についてもっと良い方法があったのではと反省することが多々あります。

この研修会の前半では「活動を共有しよう」というテーマで参加者各々が現在の学習者との活動を報告し、困った点・悩んでいる点を報告し合い、その情報を共有した参加者で解決案を検討しました。

また後半のテーマは「初級の日本語文法」でした。前半での話も踏まえて初級の文法を学習することは大切であり、文法を習得する具体的な方法として「例文作り」の大切さを学びました。これから私もクラスで実践してみようかと思っています。この研修では、学習者の目的・環境・性格を把握しながら支援することが大切であると感じました。また、今回の参加者は水曜日クラスのボランティアが殆どでしたがクラス運営を話し合うクラスミーティングとはまた違った雰囲気での学習者のことを深く考える良い研修となりました。（片岡 育子）

◆◆◆◆◆クラス紹介◆◆◆◆◆

★「水曜日午前（10：00～12：00）」

支援者8名、学習者9名（2016年12月登録）のクラスについて支援者の石川明子さんにお聞きしました。

質問者「どんなクラスですか？」

石川さん「支援者学習者の隔てなくとも仲のいいクラスです。学習者の国籍、年齢、男女は様々です。

12月21日は今学期最後なのでお雑煮の由来などを紹介し、みんなで作って食べました。祝箸も用意して各自名前を書きました。関西風の丸餅、丸く切った大根と人参の白みそ風味です。食べ終わった後、円になって『今年一番嬉しかったこと、楽しかったこと』を一人一つ発表し合いました。

そのうち一人が『日本に来たこと、KFCのクラスに参加できたことです。クラスは家族のようです。』と言ってくれました。

12時が過ぎてもなかなか帰ろうとせず、名残惜しく今年のクラスを終えました。

質問者「担当している方は？」

石川さん「ベトナム人男性です。仕事のため家で勉強する時間はないようです。しかし漢字に取り組んで、自動車の免許を取りたいと意欲的に学習しています。」

質問者「どうやって学習していますか？」

石川さん「水曜日の前半はグループ学習、後半は個別学習です。前半のグループ学習では『しりとり』『テーマを決めての話し合い』をしています。しりとりは学習者は楽しんでるようです。わからないことばが出てくると他の学習者同士説明し合っています。もちろん支援者も簡単なことばに言い直して説明しています。

個別学習では『みんなの日本語』を使っています。漢字学習と二本立てですが時間が足りないと感じています。」

質問者「楽しそうなクラスですね。」

★「木曜日午前（10：00～12：00）」

支援者5名、学習者5名（2016年12月登録）のクラスについて支援者の戸田文章さん、学習者のアンチャイナさんにお聞きしました。

質問者「どんなクラスですか？」

戸田さん「基本的に個別学習ですが、私は2名担当しています。和気藹々で学習意欲が高いと思います。」

質問者「担当している方は？」

戸田さん「お二人とも日本人男性と結婚されたタイ、ロシアから来られた方です。」

質問者「どうやって学習していますか？」

戸田さん「インターネットのNHK『News Web Easy』を、ワードに文章を打ち直して精読しています。そのトピックを材料に漢字、語彙、文章解説、意見交換をしています。

漢字は派生語など広げて定着するように力を入れています。テーマは毎回悩まされますが、学習者が関心がありそうなテーマを取り上げています。これまで、ノーベル賞、自然災害、ストーブの火事、絵文字、外国人労働などを取り上げました。私も読んでいて面白い

です。」

質問者「けっこう難しいことをされているんですね。時事ニュースは教室外でも話題として広がるのでいいですね。」

質問者「今何を学習していますか？」

アンチャイナさん「NHK easyニュースを読んでいます。漢字も勉強しています。私は新聞を読みたいし、漢字も色々な方法で練習したいです。そのほうが覚えるのが簡単です。N2とN1の文法も勉強したいです。」

質問者「クラスのいいところと悪いところを教えてください。」

アンチャイナさん「いいところは、先生が優しいことです。クラスで色々な面白いことが勉強できます。悪いところは、時々学生の数が多くてうるさくて、自分の先生の話が聞き取りにくくなります。」

質問者「そうですね。参考にさせていただきます。」

■■■ K F C 外国にルーツを持つ子どもの学習支援 ■■■

◆ ベトナムの昔話は面白い

毎月一回出張読書の会で、ベトナムの絵本・昔話をベトナム語と日本語で読む時間があります。しかし翻訳された本が少なく、同じ本を何回も読まなければならないため、子どもたちは集中して聞くことができないことが多くありました。それで、私は時間がある時に、ベトナムの昔話を翻訳し、読むようにしています。

今まで翻訳したのは5作です。パイナップルの物語 (Sự tích trái khóm)、豚の王様 (Vua Heo)、ホウキの物語 (Sự tích cây chổi)、かまどの物語 (Sự tích ông Táo)、ホアマイの物語 (Sự tích hoa Mai) です。これらの本を初めに披露する時はとても楽しみです。なぜなら、子どもたちにとって、今まで聞いたことがない話ばかりで、食い入るように見つめて集中して聞いてくれます。代表的な昔話は親から聞くことがあると思いますが、訳した物語は子どもだけではなく私も知らない話が多いです。訳す時は子どもたちが聞く時の表情を思い浮かべて、ワクワクします。

普通の絵本の文書は子どもにとって分かりやすく、好奇心を引き出す力があると思いますが、私が訳した文書は読みにくそうでした。私にとって子ども向けの文章にするのは難しいですが、少しでも読み易くしたいと思っています。

■■■ KFC 中国帰国者支援事業 ■■■

◆ 旅の感想

先日私たち帰国者たちは（中国残留邦人帰国者支援の会で）舞鶴引揚記念館に日帰りで行ってきました。

当日は朝8時半に湊川神社前で集合し、出発しました。

バスから外を眺めると高く屹っている山々など普段見ることのない美しい風景が広がりました。

11時ごろにバスは目的地の舞鶴引揚記念館前に着きました。バスから降りて早速全員がそろって集合写真を撮り、記念館を見学しました。

記念館には戦争で亡くなった人たちが使っていた服、靴、帽子、手袋などいろいろなものが展示されていました。これらを見ながら私は胸が痛くとても悲しくなりました。これらに纏わる全ての物語には「戦争」というものが欠かせなかったからです。私は、これからの世の中で戦争が二度と繰り返さないことを静かに祈りました。世の中が平和であってこそ私たち普通の市民が平和な日々を送れるからです。

記念館の見学が終わり、私たちは近くで昼食を兼ねての休憩の時間を取りました。私は、一緒に行った仲間たちと透き通った綺麗な海の見えるところで持って行ったお弁当を食べながらおしゃべりに花を咲かせました。

昼食の楽しい時間を過ごした後、私たちは近くの市場で買い物を楽しみました。市場はとても大きくて品揃えもとても豊富でした。

特に魚介類はとても新鮮でその種類も数えきれないほど多かったです。そこで私たちはたくさんの手土産を手に入れ、買い物を満喫しました。

帰りのバスで私は、ほどほど疲れた身体を休ませながらスピーカーから流れてくる音楽に耳を澄ませました。40年前に中国で流行っていた曲で、その懐かしい音楽に私は一層幸せな気分になりました。

行きより帰りはとても早く感じ、私たちを

乗せたバスはあっという間に朝の集合場所の湊川神社前に到着しました。

周りはすっかり暗くなり、引率の方から解散の挨拶をした後、私たちは各自それぞれの帰宅の途につきました。

帰りの電車の中で、私は今日も日本政府のおかげで楽しい一日を過ごせたことで感謝の気持ちでいっぱいでした。

日本政府のおかげで私たち帰国者たちは生活の保障ができ、それによって精神面でも安定した日々を過ごせることができます。

また日本政府は無料の日本語教室、交通費の提供、年に一度の日帰り旅行、忘年会、新年会など日ごろだけでなく季節ごとのイベントを企画してくれています。

日本政府の細かい配慮を思うともう少し日本語の勉強にも頑張らないといけないと思います。いつでも元気でなるべく政府には負担をかけないように私なりの努力をしていきたいと思っています。 (村上 慶子)

■■■ ハナの会 ■■■

◆ 訪問者

この季節になると毎年ハナの会に可愛いお客様がやってきます。12月2日金曜日午後2時に真陽小学校二年生と先生の約40名で

す。元気な声の挨拶で室内に入って先生の誘導の元に綺麗に整列され、始まりの挨拶を一言ずつ交替で前にでて大きな声でしてくれました。気持ちいいですね。まず歌の発表です。音楽会で歌ったという「ひょっこりひょうたん島」全員大きな声しっかりした声の歌声でした。次に合奏です。アフリカンシンフォニーです。個別で楽器を使っの演奏です。ピアノカ、木琴に手作り楽器です。ペットボトル2個を合わせて中におかきなどを入れる、それを上下左右にふる、ティッシュ箱を使って箱をたたき、ステック棒を作ってたたくなどアイデアいっぱいです。一所懸命に自分の担当を頑張って演奏上手でした。今の子供たちは度胸があり緊張知らずですね。次の出し物です。6班にそれぞれ分かれて発表です。2～3名の利用者に対して5～6名の生徒たちグループで自分たちで考えた紙芝居です。物語を考え合わせて絵を書いています、わかりやすくなっていました。

ハナの会が狭いため子供たちの声が混ざって聞こえたりします。6班それぞれ発表したあとは、利用者たちとのコミュニケーションです。折り紙をしながらふれあいです。デイの利用者からお礼をいい、ハーモニカを披露してアリランとふるさとをみんなで歌いました。あつという問いに楽しい時間は過ぎます。最後に子供たちから大きな声で挨拶があり、終わりとなった。子供たちは、学校へ帰って行きました。毎年、来所してくれ、いろいろアイデアと子供たちのレベルも上がってきています。パワーも沢山もらいみんな元気になりました。又来年くる子供たちを楽しみにしています。

最後になりましたが、インフルエンザが流行っています。みんなマスク、手洗い、うがいの予防して元気でよい年をお迎えください。
(竹宮 章子)

◆秋の勝尾寺は綺麗！！

2016年11月24日(木)はベトナム人デイの遠足がありました。集合時間より、皆が早めに集まりました。今回はデイサービスの遠足も兼ね、ベトナム人高齢者だけではなく韓国籍と中国籍の利用者さんもいました。定員より少しオーバーの申し込み者がいましたが、急な入院者などが出たことでスタッフを含む、20人でマイクロバスで行きました。

出発してからスタッフがマイクで挨拶し、遠足の流れなどを説明しようとしたら、Tさんがマイクに手を出しました。何をしようかとマイクを渡すと「『故郷』を歌うわね」と歌い始めました。そのおかげで、緊張しているバス内の空気が一気に緩み、歌うモードになりました。Bさんはベトナムの演歌を歌い、Tさんはその続きを歌ってくれました。マイクは他の人にも渡し、勝尾寺に到着するまで、笑ったり冗談を言い合ったりしながらの楽しい時間になりました。

天気予報ではその日は雨のち曇りでしたが、勝尾寺到着時は晴れており、暖かかったです。寺全体が彩りに溢れた紅葉で染められ絶景でした。時間も早かったため、観光客が少なくゆったり行動できました。元気な人はスタッフと本堂まで上って参拝しました。車いす組は行けるところまでスタッフが押して上がりました。また上にも途中にも行かない組は、下の庭を散歩しました。どのコースでも見どころがあって、みなさん満面の笑みでした。鯉の池に到着した順に鯉に餌をあげたり、写真を撮ったり、会話していました。そこで、昼食をしてから集合写真を撮りました。

次の行き先は、カトリック大阪梅田教会でした。主任の神父様はカトリックたかとり教会の元の神父だったので、カトリック信者にとってうれしい再会でした。この教会は2011年に建てられ、形は船なのです。主任の神父様が、建物や彫刻の説明を話して下さいました。船の形にしたのは、聖書にノアの方舟物語があるからだそうです。

日本の秋の名所といえば、お寺が多いですが、ベトナム人高齢者の中では、カトリック信者も仏教徒もいるため、近年ではお寺と教会に行くようにしています。

20人の遠足でしたが、参加者は、なんと4ヶ国の国籍でした。小さい国際デイでした。時間通りに無事に戻り、参加者の笑顔から遠足の満足度を読み取ることができました。(ハティ タン ガ)

■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ ■■■

◆スキルアップ～福祉の仲間作りをふりかえって～

研修の研究テーマを決めるにあたり、グループのメンバーのテーマの中に、BPSD(暴言・暴力行為・興奮・うつ・不眠・昼夜逆転・妄想・徘徊などの認知症からくる行動・心理症状)と虐待に関するテーマがあり、二つとも共通点があり、その為、虐待に関するテーマとなりました。テーマがきまり話し合いとなります。ある程度の骨組みが出来ていきました。

厚生労働省の資料では虐待が起きる原因は『個人因子』と挙げていますが、グループ内での話し合いでは賃金の低さや、人手不足、離職率の高さ等の意見が出てきました。それを踏まえたくて、研究をすすめました。各々の施設でのアンケートはベースをKさんが作成したものを使用。パワーポイントに使う参考資料もインターネット等からあげます。

高齢者施設で虐待が起こる原因について 実際に報道されているのは氷山の一角でしかないのは仕事をしているなかでよく解っているつもりではありましたが、根本的な虐待が起きるメカニズムは、よく解っていなかった事に気づきました。認知症の利用者の中核症状やBPSD、職員の介護技術の未熟等によって、不適切な介護になり、結果、職員のストレスとなり感情のコントロールが出来なくなり悪循環に陥る、ということが、話し合うなかで見えてきました。その事が当たり前の日常になると、他の職員も虐待と気づかなくなるのではないかと感じました。

その様な事になる前に施設内で情報の共有により、悪循環にならないように努めます。また業務の多忙さ、人手不足等でストレスにならないように環境整備(人員の配置)も必要となると、この研究を通じて感じました。(グループホームハナ 渡邊 将宣)

■■■ 今後の予定 ■■■

◆今後の予定

■KFC20周年記念のつどい・祝賀会

2月11日(土・祝)

13:40～16:30 つどい 於 ピフレホール

17:30～20:00 祝賀会 於 在日大韓国民団兵庫県地方本部

■ **KFC帰国者新長田交流会**

1月31日(火) 新春会

■ **日本語プロジェクト**

1月14日(土) 10:00~16:00生活漢字出前講座

於 新長田勤労市民センター講習室

2月18日(土)13:00~16:00

地域日本語教室を考える

於 神戸国際協力交流センター会議室

■ **多文化子ども共育センター**

1月7日(土) ~3月25日(土) 全10回

就学前の子どものプレスクール

於 MOI (10:30~12:00)